



神小たより

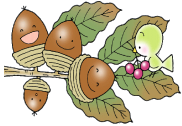
ホームページアドレス <http://kamiyama-es.agano.ed.jp/>

阿賀野市立神山小学校

学校だより 11月号

保護者・地域版

H28. 11. 10



「一つ一つの行事をとおして、確実に成長する 神山小学校の子どもたち」

校長 鈴木 正彦

五頭の子も次第に色づき始め、澄み切った青空に映える季節となりました。10月22日（土）には「学習発表会」が行われました。当日はお忙しい中にも関わらず、たくさんのご来賓、保護者、地域の方々から参観に来ていただき、誠にありがとうございました。

全員合唱「ふるさと」で幕を開けました。前半は、3・4年生「Music World Trip 2016」でした。居ながらにして世界中旅をして、「OLA!!」のダイナミックな演奏が聴けました。1年生の「いちねんせいのうた」では、暗唱した詩や文を発表したり習った漢字を人文字で表したりし、1年生の学習の様子が手に取るように分かりました。5年生は、「米作り大発見」でした。種まきから始まり、田植え、草取り・生き物探し、稲刈り、はさがけ、せんばこきを使った脱穀等、一連の流れをクイズを交えた劇形式で発表しました。おかげでお米作りのイロハを知ることができました。



後半は、2年生「けしき山で、かえるのパーティ！」で始まりました。劇形式で始まり楽しい雰囲気の中で「山のポルカ」を演奏し、最後に「上を向いて歩こう」を手話を交えて歌いました。バリエーションに富んだ発表で楽しかったです。最後は6年生、「未来へ向かって」でした。「仲代金属」と「ハチミツ八米」さんから伺った話や見学したことをもとに、仕事に対する姿勢を学び、自分たちの将来について考える6年生らしい今後につながる発表となりました。最後は、保健委員会を中心とした、ダンス「シェアハピ」。楽しく体を鍛える運動としてダンスを取り入れ練習してきました。

子どもたちは、日ごろから伝え続けている2つのことを守り、学習発表会をやり遂げました。1つめは、自分の力を出し切ること、2つめは、友達や他学年の人と協力してやり遂げること、です。学習発表会を通し、確実に成長している姿を実感することができました。保護者の皆様からも、「生き生きとした表情で、進んで発表していました。」「学習した成果が現れていました。」「元気をもらいました。」「一人一人が役割分担を果たし、堂々たる発表でした。」等の感想も、たくさんいただきました。

今後とも、子どもたちのがんばる姿に、ご声援をよろしくお願いいたします。

さて、11月には2つの国民の祝日があります。一つは3日「文化の日」、もう一つは、23日「勤労感謝」の日です。「文化の日」には、自由と平和を愛し、文化をすすめるという意味があります。つまり、自由でいられること、平和の大切さに感謝し、積極的に文化的な生活（読書、芸術、スポーツ、学習）をしましょうということです。

それでは、23日の「勤労感謝の日」は、どのような意味があるのでしょうか？恥ずかしながら私はずっと、「自分のために働いてくれる人に感謝する」意味ととらえていました。

本来の意味はもう少し広いようです。もともとは、「勤労をたっとうび、生産を祝い、国民互いに感謝しあう。」という意味があります。農業国家である日本は、古くから神々に五穀の収穫を祝う風習がありました。天候に大きく左右される収穫。だからこそ、生産し収穫できることに感謝し、働ける幸せをかみしめ、お互い感謝しましょうという意味で制定されたのだと思います。

11月の全校朝会では、①「働く」ことの意味（大切さ）について考える、②働くことによって得られる「幸せ」をかみしめる、③元気に働けること（元気に学校へきて運動や勉強をすること）に感謝する、④自分のために働いてくれる人に感謝する、ことについて話しました。これを機会に、家族でも「働く」ということについて、話し合ってみようか。